

日本国特許庁
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出願年月日 2003年 6月27日
Date of Application:

出願番号 特願2003-184893
Application Number:
[ST. 10/C]: [JP 2003-184893]

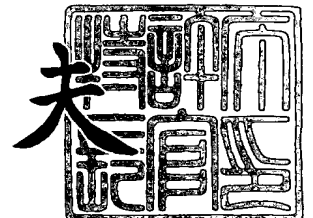
出願人 富士通テン株式会社
Applicant(s):



2004年 3月 1日

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

今井 康夫



出証番号 出証特2004-3015204

【書類名】 特許願

【整理番号】 1033946

【提出日】 平成15年 6月27日

【あて先】 特許庁長官 太田 信一郎 殿

【国際特許分類】 G06F 19/00

【発明の名称】 移動端末用スケジュール管理システム、このシステムを構成する管理センタ及び移動端末

【請求項の数】 3

【発明者】

【住所又は居所】 兵庫県神戸市兵庫区御所通 1 丁目 2 番 2 8 号 富士通テン株式会社内

【氏名】 佐古 和也

【特許出願人】

【識別番号】 000237592

【氏名又は名称】 富士通テン株式会社

【代理人】

【識別番号】 100099759

【弁理士】

【氏名又は名称】 青木 篤

【電話番号】 03-5470-1900

【選任した代理人】

【識別番号】 100092624

【弁理士】

【氏名又は名称】 鶴田 準一

【選任した代理人】

【識別番号】 100102819

【弁理士】

【氏名又は名称】 島田 哲郎

【選任した代理人】

【識別番号】 100100871

【弁理士】

【氏名又は名称】 土屋 繁

【選任した代理人】

【識別番号】 100082898

【弁理士】

【氏名又は名称】 西山 雅也

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 209382

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9814498

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 移動端末用スケジュール管理システム、このシステムを構成する管理センタ及び移動端末

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 管理センタと移動端末とから構成される移動端末用スケジュール管理システムであって、

前記管理センタのオペレータと前記移動端末の利用者との会話により、オペレータが入力したスケジュールを前記移動端末に送信し、

前記移動端末は、受信したスケジュールを記憶手段に記憶し、そのスケジュールを表示手段に表示すること、

を特徴とする移動端末用スケジュール管理システム。

【請求項 2】 移動端末との間で通話をする通話手段と、

通話による基本情報から作成したスケジュールを記憶する記憶手段と、

前記作成したスケジュールを前記通話手段により前記移動端末に送信する手段と、

を具備することを特徴とする管理センタ。

【請求項 3】 管理センタとの間で通話をする通話手段と、

前記通話手段で管理センタから受信したスケジュールを記憶する記憶手段と、

前記スケジュールを表示する表示手段と、

を具備することを特徴とする移動端末。

【発明の詳細な説明】

【 0 0 0 1 】

【発明の属する技術分野】

本発明は、車で移動するユーザや持ち運び可能な移動端末を所持するユーザに対するスケジュールを管理するシステム及びこのシステムを構成する管理センタ及び移動端末に関する。

【 0 0 0 2 】

【従来の技術】

車載機、PDA、小型パソコンなどの移動端末に利用者のスケジュールを記憶

させてスケジュール管理を行うことが行われている。スケジュール管理の具体的方法としては、スケジュール内容を表示部に表示したり、スケジュール開始時刻の前にアラームを鳴らして使用者にスケジュールが迫っていることを知らせたりすることが行われている。

車載機においてこのようなスケジュール管理を行うことで、ユーザは、スケジュール管理を装置に任せて、車の運転に専念することができる。

【0003】

スケジュールを車載機に登録するには、パソコン、PDAなどでスケジュールを作成し、そのスケジュールを記憶させたメモリカードを車載機に装着する方法がある。また、停車中に、車載機に利用者が車載機の操作部を操作して直接登録する方法もある。移動端末がPDAの場合は、専用ペンを用いて内容をユーザ自ら入力する方法が用いられる。

【0004】

車載機などの移動端末に登録したスケジュールは、スケジュールを表示部に表示しながら移動端末の操作部を操作することにより、修正が可能である。また、移動端末がPDAの場合には、専用ペンを用いてユーザ自らが修正入力を行うことが可能である。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】

しかし、スケジュールの登録、修正を行うため、車両の運転中に操作部を操作することは運転に支障をきたすことになり危険である。また、移動端末がPDAの場合には登録、修正が煩雑である。さらに、歩行中にこのような移動端末の操作はしづらい上に、使用者は周囲への注意力が欠けてしまうおそれがあり、安全上の面でもこのような操作は好ましくない。

【0006】

本発明は、移動端末に登録したスケジュールを、操作部を操作することなく登録、修正できる移動端末用スケジュール管理システムを提供することを目的とするものである。

また、本発明は、上記移動端末用スケジュール管理システムを構成する管理セ

ンタ及び移動端末を提供することを目的とするものである。

【0 0 0 7】

【課題を解決するための手段】

本発明は上記目的を達成するためになされたものである。本発明の移動端末用スケジュール管理システムは、管理センタと移動端末とから構成される。ユーザは、スケジュールを登録又は修正しようとするとき、移動端末に搭載した通話手段により、管理センタと電話回線などを介して接続し、オペレータと通話を行う。なお、移動端末に登録したスケジュールテーブルは管理センタにも同じ内容のデータを保存しておく。

【0 0 0 8】

オペレータは、ユーザと会話をするることにより、スケジュール登録又は修正に必要な情報を得て、センタ側のスケジュールテーブルを作成又は修正する。

作成又は修正したスケジュールテーブルは、管理センタから、通話手段により移動端末に送信される。

移動端末は、受信したスケジュールテーブルを記憶部に記憶する。以後、移動端末は、このスケジュールテーブルに従って、スケジュール管理を行う。

【0 0 0 9】

本発明によれば、管理センタ側の管理により移動端末にスケジュールが登録又は修正される。したがって、運転中であっても、利用者は運転に集中することができ、安全性を確保することができる。また、移動端末が P D A の場合は、煩雑な操作を行うことなくスケジュールの入力、修正が行える。

【0 0 1 0】

【発明の実施の形態】

本発明の実施形態について図を用いて説明する。

図 1 は、車載機用スケジュール管理システムの構成を示す。

このシステムは、車載機 1 と管理センタ 2 により構成される。車載機 1 と管理センタ 2 とは基地局 3、携帯電話回線 4 を介して通信が可能となっている。

【0 0 1 1】

車載機 1 は、車に搭載され、スケジュール管理部 5、携帯電話などの通話装置

6、記憶部7、ディスプレイ8、スピーカ9、カードリーダー10を具備する。

管理センタ2は、スケジュール管理部11、携帯電話回線4を介して車載機1と通信を行う送受信部12、スケジュール記憶部13、操作卓14を具備する。操作卓14には、ディスプレイ15、キーボード16が備えられている。

なお、携帯電話回線4の代りに、音声データをデータ化してインターネット経由で通話できるようにしても良い。

【0012】

ユーザは、車載機1によりスケジュール管理をしようとするとき、パソコン又はPDAにより管理しているスケジュールテーブル17を、メモリカードなどのメモリカードにコピーし、カードリーダー10に装着する。スケジュール管理部5は、メモリカードからスケジュールを読み込み、記憶部7に記憶する。

なお、車載機1へスケジュールを入力する方法としては、メモリカードを利用するだけでなく、パソコン又はPDAに登録されたスケジュールを無線LANにより車載機に転送することもできる。また、車載機1に直接マニュアル入力することもできる。なお、移動端末がPDAや小型パソコンの場合には、キーボードやペンを用いて情報を直接入力することができる。

【0013】

車載機1のスケジュール管理部5は、スケジュール管理を行う。つまり、スケジュールをディスプレイ8に表示すること、スケジュール開始時刻が近づいたときに、ディスプレイ8、スピーカ9にアラームを表示したり、音声でスケジュール内容を案内したりすること、スケジュールの登録、修正などの処理を行う。これらについては、良く知られたものであるので、ここでの説明は省略する。

【0014】

図2に、スケジュールテーブル17の内容を示す。

項目番号に続いて、会議、結婚式などの項目名、会社名、式場などの予定場所、スケジュールの開始日時、終了時刻、案内の要否、案内開始時間が記録される。

案内の要否には、アラームや音声案内の必要があれば「要」、アラームが必要なければ「不要」が設定される。案内開始時間には、開始時刻の何分前にアラーム

ムを鳴らすかが設定される。

【0015】

本例においては、スケジュールの登録、修正などの処理が、管理センタ2との共同処理により行うことを可能とするものである。

図3を用いて、車載機1のスケジュール管理部5と、管理センタ2のスケジュール管理部11の動作を説明する。

利用者は、スケジュールの登録又は修正を管理センタ2に依頼しようとするとき、ディスプレイ8上にメニュー画面を表示させ、スケジュール登録、修正を選択する。この操作により、図3の処理がスタートする。

【0016】

管理センタ2の電話番号が自動ダイヤルされ、車載機1と管理センタ2との間で電話回線が接続される(S1)。管理センタ2にユーザのスケジュールデータが登録されていない場合には、管理センタ2からスケジュールテーブル送信要求が車載機1に送信される(S101)。車載機1は、この送信要求を受信すると、記憶部7からスケジュールテーブル17を抽出し、車載機IDを付加して管理センタへ送信する(S2)。

【0017】

管理センタ2では、受信したスケジュールテーブル17を車載機IDとともにスケジュール記憶部13へ記憶し(S3)、オペレータを呼び出す(S4)。

オペレータは、スケジュールテーブル17をディスプレイ15に表示し(S5)、電話により運転者と会話を交わし(S6)、スケジュール登録又は修正のための情報を取得する。

【0018】

オペレータは、取得した情報に基づいて、スケジュールテーブル17の登録、修正を行う(S7)。

登録、修正作業が終了すると、スケジュールテーブル17が、車載機1に送信され(S8)、スケジュール記憶部13に記憶される(S9)。

【0019】

車載機1では、受信したスケジュールテーブル17で記憶部7に記憶する(S

10)。これにより、記憶してあるスケジュールテーブル17が新たなものに書き換えられる。なお、管理センタ2から新規登録部分、修正された部分のみを送信し、車載機1では、修正された部分のみを書き換えるようにすることもできる。

【0020】

車載機1は、スケジュールテーブルの記憶後、電話回線を切断する(S11)。これにより、図示の処理が終了する。

以後、車載機1のスケジュール管理部5は、修正されたスケジュールテーブル17を用いて、スケジュール管理を行う。

【0021】

本例によれば、運転者は、メニュー画面を呼び出し、音声でオペレータと会話を進めていくだけで、スケジュールの登録、修正をすることができる。従って、運転上の安全を損なうことなくスケジュールの登録、修正をすることが可能になる。また、移動端末がPDAなどの場合も、同様のシーケンスにより音声でオペレータと会話を行うだけで、煩雑な操作なしでスケジュールの登録、修正を行うことが可能になる。

【0022】

【発明の効果】

本発明によれば、移動端末に登録したスケジュールを、操作部を操作することなく登録、修正できる移動端末用スケジュール管理システムを得ることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】

本発明の実施形態1のスケジュール管理システムの構成を示す図である。

【図2】

図1の車載機におけるスケジュールテーブルの内容を示す図である。

【図3】

図1の管理センタにおけるスケジュールテーブルの内容を示す図である。

【符号の説明】

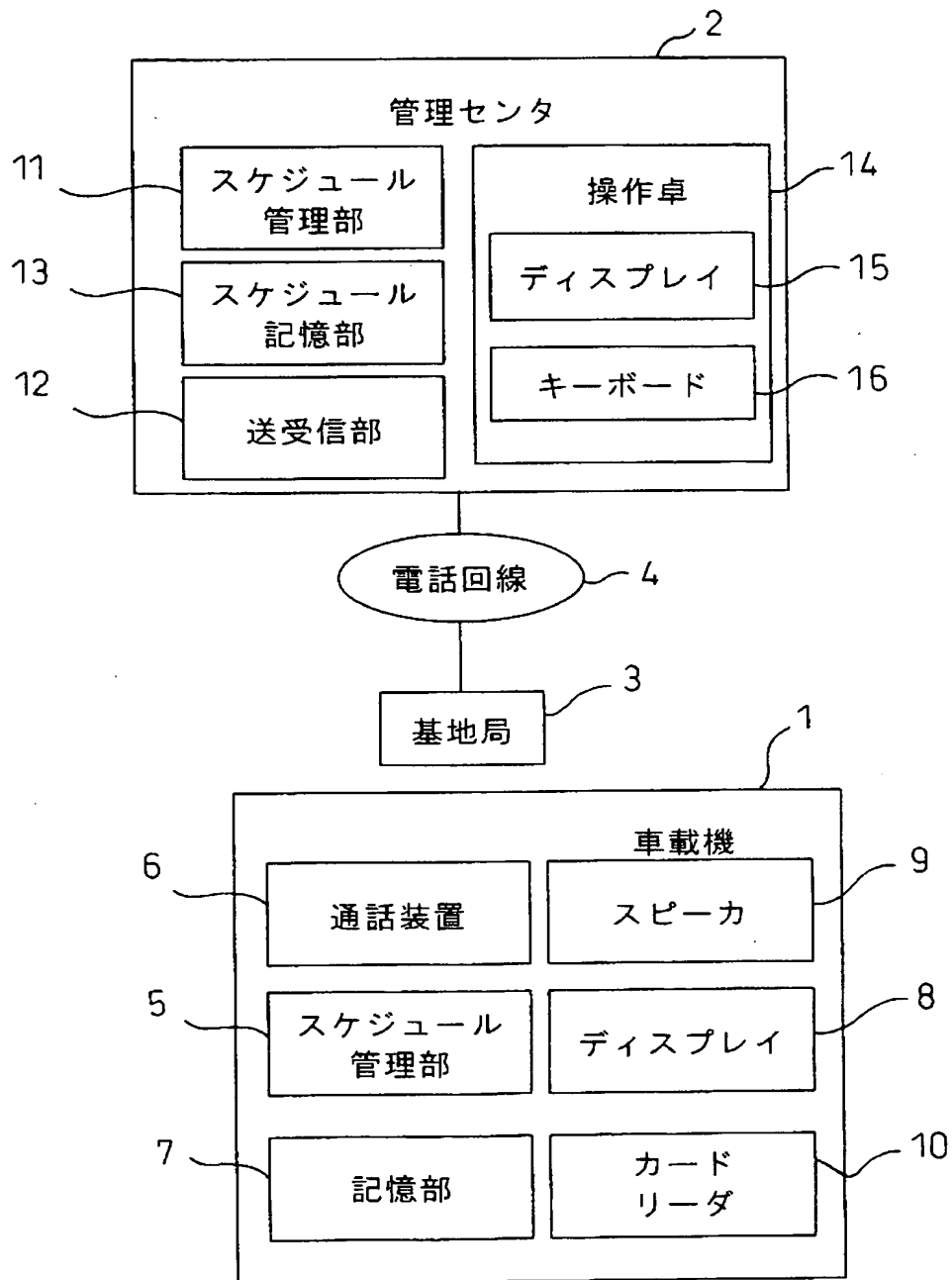
- 1…車載機
- 2…管理センタ
- 3…基地局
- 4…携帯電話回線
- 5…スケジュール管理部
- 6…通話装置
- 7…記憶部
- 8…ディスプレイ
- 9…スピーカ
- 10…カードリーダー
- 11…スケジュール管理部
- 12…送受信部
- 13…スケジュール記憶部
- 14…操作卓
- 15…ディスプレイ
- 16…キーボード
- 17…スケジュールテーブル

【書類名】

図面

【図 1】

図1



【図 2】

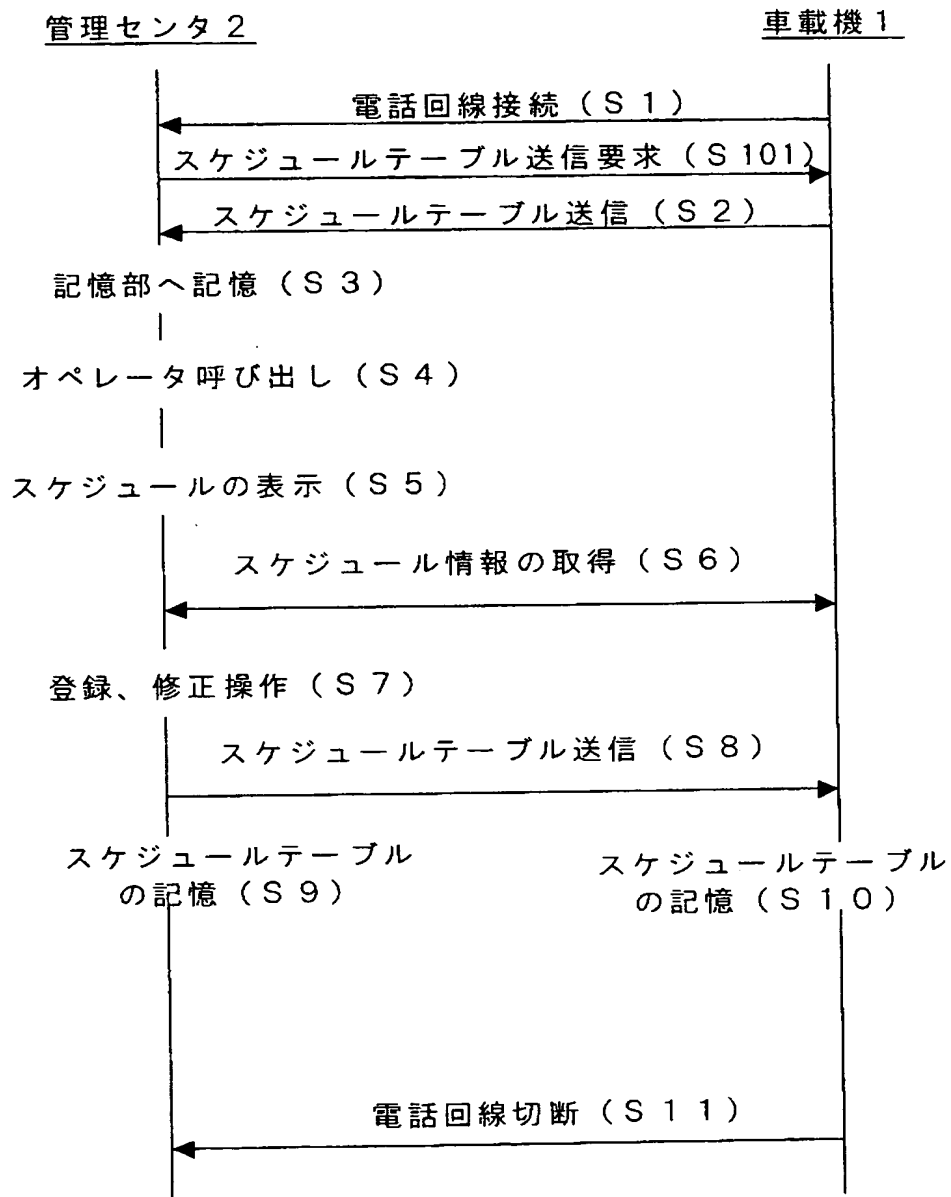
図 2

17

項目番号	項目名	場所名	開始日時	終了時刻	案内要否	案内開始時間
1	会議	〇〇会社	〇日〇時〇分	〇時〇分	要	〇分前
2	結婚式	〇〇ホテル	〇日〇時〇分	〇時〇分	要	〇分前

【図 3】

図 3



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 移動端末に登録したスケジュールを、操作部を操作することなく登録、修正できる移動端末用スケジュール管理システムを提供する。

【解決手段】 使用者は、スケジュールを登録又は修正しようとするとき、移動端末 1 と管理センタ 2 とを電話回線を介して接続する（S 2）オペレータは、使用者と会話をすることにより、スケジュール登録又は修正に必要な情報を得て（S 6）、スケジュールテーブルを作成又は修正する（S 7）。作成又は修正したスケジュールテーブルは、管理センタから移動端末に送信される（S 8）。移動端末は、受信したスケジュールテーブルを記憶部に記憶する（S 1 0）。以後、移動端末では、このスケジュールテーブルに従って、スケジュール管理を行う。

【選択図】 図 3

特願 2 0 0 3 - 1 8 4 8 9 3

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号

[0 0 0 2 3 7 5 9 2]

1. 変更年月日

1 9 9 0 年 8 月 2 9 日

[変更理由]

新規登録

住 所

兵庫県神戸市兵庫区御所通 1 丁目 2 番 2 8 号

氏 名

富士通テン株式会社